

〔研究ノート〕

趙元任訳・中国語版 *Alice's Adventures in Wonderland* における言語遊戯について

石 毛 雅 章

いつかは『不思議の国のアリス』の翻訳について調べてみたいと思っていた。しかし、先年、楠本君恵氏が大変に優れた翻訳論『翻訳の国のアリス』を著されたので、もうその必要はないかに思われた。日本語訳に関する綿密な論考だけでなく、ドイツ語、フランス語、さらにロシア語訳についてまで論じておられるからだ。しかし（もちろん予定はされておられるに違いないが）中国語の訳に関してはお書きになっておられなかった。そこで、その、ほんの少しの隙を補うことができれば、と思い、中国語訳『アリス』について調べてみた。それがある程度まとまったので、まだまだ不明な点が多いものの、これまでの進捗状況の報告として、ここに発表させていただくこととした。

ルイス・キャロル(Lewis Carroll; 1832-1898)の『不思議の国のアリス』(*Alice's Adventures in Wonderland*; 1865)をはじめて中国語に訳したのは、言語学者の趙元任(Zhao Yuan Ren 或いは Chao Yuen Ren; 1892-1982)であった。¹ コーネル大学留学中にその存在を知り、一読するや、彼はすっかり『アリス』のとりこになってしまったのだ。帰国後さっそく翻訳を開始し、1922年に中国語版アリス『阿麗思漫游奇境記』を出版した。⁽²⁾

-
- (1) Warren Weaver, *Alice in Many Tongues—the Translation of Alice in Wonderland*, pp. 112-3.
(2) 趙元任と『アリス』本とのかかわりについて、また、彼がいかにキャロル作品を翻訳するにふさわしい人物であったか、などの点については、稿を改めて論じる予定なので、ここでは触れないことにする

『アリス』の各国語訳を比較検討したウィーヴァー(Warren Weaver)は元任訳を、特にその言葉遊びの訳を、口を極めて賞賛している。⁽³⁾ ところが、ウィーヴァーは中国語が読めないので、中国語訳を英語に訳しなおしたものを見てその判断を下しており、また、その著書には中国語訳自体、ごく一部のみしか掲載されていない。そのため、読む者に、元任は英語のしゃれをどのような中国語に移しえたのか、実際に目で見、英語原文と比較してみたいという気持ちを起こさせる。翻訳と言語遊戯に多大な関心を寄せている筆者も、やはりそのような思いを強く抱かされた。このことも、今回調査を始めた理由のひとつとなっている。以下に、英語原文に見られる言葉遊びの大半を抜き出し、それに対応する元任訳を掲げ、筆者のコメントを付した。ただし、今回はこれまでの経過報告ということで、各々の事例に関して深い分析をしたり、全体として特に結論めいたものは出していない。また、筆者の中国語の力がまだまだおぼつかないために、とんでもない誤りを犯している箇所があるやもしれない。大方のご叱正を賜りたい所存である。

英文『アリス』の底本としては *The Annotated Alice – The Definitive Edition*, ed. by Martin Gardner, 2000 を用いた。元任訳の底本としては原本の簡体字版『阿麗思漫遊奇境記』(商务印书馆; 2002)を用い、適宜ハーバード大学所蔵の原本(繁体字)『阿麗思漫遊奇境記』のコピーと、台湾で発行された元任訳の繁体字・現代語版『愛麗絲漫遊奇境』(經典傳訊; 2000)とを参照した。

1. “Do cats eat bats? Do cats eat bats?” and sometimes “Do bats eat cats?” for, you see, as she couldn’t answer either question, it didn’t much matter which way she put it. (p. 14)

“猫子吃蝙蝠子吗? 猫子吃蝙蝠子吗?” 有时候说说说乱了, 变成“蝙蝠子吃猫蝠子吗? 吃子蝙猫蝠子吗?” 你想她横竖答不出来这话, 所以顺着问, 倒着问也还不是一样。(p. 4)

(3) Weaver, p. 107.

catとbatは一文字違いであるため、ぼーっとしているアリスはうっかり言い間違えてしまう。だがそれは主語と目的語が入れ替わることを意味し、どちらがどちらを食べるのか、という、当事者たちにとっては深刻な影響を及ぼす言い換えである。しかしその答えを知らないアリスにとっては、どちらでもかまわないことだと、視点をひょいとアリスの側に移動させ、当事者をおいてきぼりにするという、ドライで不条理なおかしみを味わわせる箇所である。

中国語版は、文字を循環的に入れ替えることによって、原文の趣向を一部再現しているが、主客の転倒という点については追随していない。「猫子」と「蝙蝠子」の文字数の違いもあってか、原文の面白さを完全に移し変えるまでにはいたっていない。

2. “You ought to be ashamed of yourself”, said Alice, “a great girl like you,” (she might well say this), “to go on crying in this way! Stop this moment, I tell you!” (p. 21)

哭着自己又说道，“像你这么大的孩子，”（可不是妈？）“还这样的哭个不休，怎么害羞都不怕？你给我立刻就住声！你听见吗？住声！立刻就住声！” (p. 9)

「あなたみたいな大きな子が！」という言い方は、どの言語でも、年齢と背の高さ両方に言及可能であるので、中国語にも、特に問題なく移植できている。

3. there was a Duck and a Dodo, a Lory and an Eaglet ... (p. 27)

里头有一个鸭子和一个鸵鸵（即渡渡鸟），一个鸚哥和一个小鹰儿。(p. 15)

この部分の原文は内輪のジョークとなっている。Duckは同僚のDuckworth、DodoはDodgsonすなわちキャロル本人、Loryはキャロルの所属するクライスト・チャーチ学寮の学寮長ヘンリー・ジョージ・リドル（Henry George Liddell）の長女でアリスの姉Lorina、Eagletは末娘Edithをあらわす。中国語版は意味だけを移植するにとどまっている。

4. “Ahem,” said the Mouse with an important air. “Are you all ready? This is the driest thing I know. Silence all round, if you please!” (p. 30)

那老鼠做着个高贵的样子，咳一声道，“呃哼！你们都齐备了吗？我将要给你们的东西是天下再没像这样又干又暖的了。请你们诸位静听，不准吵闹！”(pp. 16-7)

原文はdryの持つ、「乾いた」と「無味乾燥な」、という二つの意味にかけたしゃれになっている。まことに味気ない話をえんえんと聞かせて、体を乾かしてやろう、というのがネズミのねらいであったわけだ。翻訳のほうでは、これから皆さんにさしあげるものは、「天下再没像这样又干又暖的了」すなわち「これ以上ないほど乾いていて暖かなものだ」となっている。「干巴巴」や「干瘪」のような表現になると、「(文章などが) 無味乾燥である」という、抽象的な意味で「乾いている」という意も明らかになるが、「干」一文字では、そのような意味があまりあからさまでないために、しゃれとしては少々弱いように思われる。しかも、「暖」が付け加えられていることも考あわせると、訳者はこの箇所ですれを意識していなかったのかもしれない。

5. “Mine is a long and sad tale!” said the Mouse, turning to Alice, and sighing.

“It is a long tail, certainly,” said Alice, looking down with wonder at the Mouse’s tail; “but why do you call it sad?” (p. 33)

那老鼠对着阿丽思叹了一口气道，“唉！我的历史说来可真是又长又苦又委屈呀。”阿丽思听了，瞧着那老鼠的尾巴说，“你这尾是曲啊！可是为什么又叫它苦呢！”她就一头听着那老鼠说话，一头在心上纳闷，所以她听的那老鼠讲的“尾曲”的历史是差不多像这样子的（请看下页）(p. 21)

原文はtale（話）とtail（尾）が同音異義語であることを利用したしゃれになっている。アリスならずとも、なぜ「悲しい」しっぽなのか、は気になるところである。中国語版では、残念ながら、「話」と「しっぽ」に相当する同音異義語がないので、この点を厳密に移植することはできていない。しかし、切ない、やりきれない、という

意味の「委屈 wěi qū」と、くねくね曲がっている、の意味の「委曲 wěi qu」(形容詞)がほぼ同音意義語であることを利用して、ごく近い箇所と同様の効果をあげている。終わりのほうに、「尾曲 wěi qu 的历史」とあるのは、本来「委曲 wěi qu 的历史」と表記すべきところで、この「委曲」(名詞)は、話の一部始終、という意味になる。

6. “I beg your pardon,” said Alice very humbly: “you had got to the fifth bend, I think?”

“I had not” cried the Mouse, sharply and very angrily.

“A knot!” said Alice, always ready to make herself useful, and looking anxiously about her “Oh, do let me help to undo it!” (p. 34)

阿丽思很谦虚地道，“对不住，对不住。你说到了第五个弯弯儿嘞，不是吗？”那老鼠很凶很怒地道，“我没有到！”阿丽思道，“你没有刀吗？让我给你找一把罢！”(阿丽思说着四面瞧瞧，因为她总喜欢帮人家的忙。)(p. 21)

原文では否定の not と結び目の knot の同音異義語のしゃれになっている。中国語版では、隣接する箇所の「到 dào」到達する、に注目し、ほぼ同音異義語の「刀 dāo」(かたな)を探してあげましょう、とアリスに言わせている。

7. “What do you mean by that?” said the Caterpillar, sternly. “Explain yourself!”

“I ca’n’t [sic] explain myself, I’m afraid, Sir,” said Alice, “because I’m not myself, you see.”

“I don’t see,” said the Caterpillar. (p. 47)

那毛毛虫狠狠地道，“你这算什么话？把你自己都招出来！”阿丽思道，“我怕我不能把我自己招出来，因为我现在不是自己，您看，先生？”“我不看！”(p. 35)

原文 explain oneself は、本来、慣用句で「言おうとしていることをはっきりと説明する」という意味である。それをアリスは「自分自身を説明する」ととってしまったために、今は I’m not myself 「私は私自身ではない」から説明できない、と答える、と

とるのが一般的であろう。しかし、I'm not myself は、慣用句としては「本来の（正常な）自分ではない」という意味であり、アリスがこの意味にひっかけて、「だからはっきり説明することはできない」と答えた、と理解するならば、彼女は芋虫と対等にわたりあったことになる。

芋虫はさらに追い討ちをかける。アリスがほんの軽く「何しろ」、くらいのつもりで言った you see を、芋虫は本来の語義「わかる」ととらえ、「いや、わからないね」とつっぱねるのだ。

翻訳では「你自己」もしくは「我自己」は明らかに「招出来」の目的語となっていて、原文のちょっと複雑な言葉遊びを移してはいない。また、原文 you see は「您看」と直訳になっていて、英原文のニュアンスは伝わってこないようだ。

8. “If everybody minded their own business,” the Duchess said, in a hoarse growl, “the world would go round a deal faster than it does.”

“Which would not be an advantage,” said Alice, who felt very glad to get an opportunity of showing off a little of her knowledge. “Just think what work it would make with the day and night! You see the earth takes twenty-four hours to turn round on its axis—”

“Talking of axes,” said Duchess, “chop off her head!” (p. 61)

那公爵夫人粗声嚷道，“要是天下人都瞧着他自己做的什么事情，那样地球就要比现在转得快得多嘞。”“这倒不见得有什么益处，”阿丽思说着觉得这是一个显她的知识的机会。她道，“你想那样要把日夜变成什么啦！你瞧，地球要二十四小时围着地轴转一回——”那公爵夫人道，“还说斧子呢，砍掉她的头！”(p. 49)

原文は axis 「地軸」と axes 「斧（の複数形）」のしゃれ。中国語版ではうまく対応できておらず、「地轴 dì zhóu」とはまったく発音の異なる「斧子 fǔzi」が唐突に登場する。

9. “It turned into a pig,” Alice answered very quietly...

“Did you say ‘pig’, or ‘fig’?” said the Cat. (pp. 66-7)

她就平平常常地答道，“他变成了猪嘞。”...

那猫问道，“你刚才说猪还是书？”阿丽思答道，“我说的是猪。”(p. 53)

チェシャ猫がアリスの言葉を確認する場面。赤ん坊は何に変わったのか？ pig か、fig か？これも一字違いで大違いの例。中国語版でもやはり一音違いの「猪 zhū」（いのしし）か、「书 shū」（書物）か、とチェシャ猫がたずねている。

10. “Perhaps not,” Alice cautiously replied; “but I know I have to beat time when I learn music.”

“Ah! That accounts for it,” said the Hatter. “He wo’n’t [sic] stand beating. . .” (p. 72)

阿丽思答道，“或者没有。可是我知道我学音乐的时候要得拍时候的。”那帽匠道，“哦，那自然嘞。你拍他打他，他还愿意吗？...”(p. 58)

アリスは beat time を「拍子をとる」の意味で使っている。帽子屋はそれを「(擬人化された)『時』を殴る」と解釈する。中国語版でもやはり「たたく・打つ」の意味と「拍子を取る」の二つの意味を持つ「拍」の字を用いたしゃれとなっている。

11. “Once upon a time there were three little sisters,” the Dormouse began in a great hurry; “and their names were Elsie, Lacie, and Tillie; and they lived at the bottom of a well –” (p. 75)

那惰儿鼠就慌忙地起头讲道，“从前有三个姊妹，她们的名字叫霭而细，腊细，和铁梨；她们住在一口井的底里——”(p. 60)

原文は前出と同じく内輪のジョーク。Elsie は L.C. すなわち長女 Lorina Charlotte であり、Lacie は Alice のアナグラム。Tillie は末娘 Edith の家庭でのニックネーム Matilda の省略形。中国語版はさすがに音を移すにとどまっている。

12. “And so these little sisters—they were learning to draw, you know—”

“What did they draw?” said Alice, quite forgetting her promise.

“Treacle,” said the Dormouse, without considering at all, this time.... (p. 76)

“所以这三个小姊妹就——你知道？他们在哪儿学抽——”“她们抽什么？”阿丽思问着又忘了答应不插嘴了。那惰儿鼠也不在意，就答道，“抽糖。”(p. 61)

原文 little sisters は前出のとおり内輪のしゃれで、「Liddell 家の三姉妹」とひっかけている。また、draw は、この語の持つ二つの意味、すなわち「描く」と「汲み上げる」をかけた言葉遊びとなっている。一方中国語訳では「汲み上げる」の意だけを取り、「抽 chōu」をあてている。

13. “But I don’t understand. Where did they draw the treacle from?”

“You can draw water out of a water-well,” said the Hatter; “so I should think you could draw treacle out of a treacle-well—eh, stupid?”

“But they were in the well,” Alice said to the Dormouse, not choosing to notice this last remark.

“Of course they were,” said the Dormouse: “well in.” (p. 76)

“恕我不很明白。她们那抽的糖，是从哪儿来的呢？”那帽匠道，“水井里既然有水，糖井里自然有糖——哆，这么笨！”阿丽思故意当没听见这末了一句话，她又对那惰儿鼠问道，“但是她们自己已经在井里头嘞，怎么还抽得出来呢？”那惰儿鼠道，“自然她们在井里头——尽尽里头。”(p. 62)

原文最後の部分、well in は、「まさにその中に」とか、「うんと深いところに」の意味であるが、もちろん名詞 well 「井戸」とのしゃれ。中国語も「井里头 jǐng lǐ tou」井戸の中に、と「尽里头 jìn lǐ tou」もっとも内部に、とほぼ同音でしゃれている。

14. “Really, now you ask me,” said Alice, very much confused, “I don’t think—”
“Then you shouldn’t talk,” said the Hatter. (p. 77)

阿丽思更被它说糊涂了，她道，“老实话，你问起我来，我倒没想到——”那帽匠插嘴道，“既然没想到，就不该说话。”(p. 63)

原文 I don’t think ~ は、アリスが「~とは思わない」と言いかけたところを途中でさえぎられ、考えないなら話すな、と言われてしまう。語順の関係で日本語訳はやりにくい箇所だが、中国語は英語と語順がおなじなので「我倒没想到」と、直訳で OK になっている。

15. “—Maybe it’s always pepper that makes people hot-tempered,” she went on, very much pleased at having found out a new kind of rule, “and vinegar that makes them sour—and camomile that makes them bitter—and—and barley-sugar and such things that make children sweet-tempered...” (p. 90)

“——也许人家性急都是因为吃胡椒的缘故。”她说着觉得发明了一个新理，很高兴，她就接下去道，“心酸大概是喝了酸梅汤的缘故——命苦大概是吃了黄连的缘故——还有——还有小孩儿的脾气甜甜的，大概是吃了大麦糖那些东西的缘故。”
(p. 74)

原文は hot の持つ二つの意味、「辛い」と「短気な」、にかけてあるが、中国語訳は「せっかちな」の意にのみ対応している。しかし、sour「すっぱい」「不機嫌な」、には「心酸」をあて、「すっぱい」と「悲しい」の両義を持たせている。原文 bitter はカミツレが「苦い」のと「つらい」をかけていて、それに対しては「不幸な運命にある」(「命苦」)のは「苦い」オウレンを食べたから、としている。最後に小さな子供の心がかわいいのは、甘い「大麦糖」のようなものを食べるから、として「甜」の二つの意味をかけている。

16. “and the moral of that is—‘Take care of the sense, and the sounds will take care of themselves.’” (p. 92)

“于此可见——说话总要‘不以字达辞，不以辞达意。’”(p. 75)

原文の教訓は、英国の諺“Take care of the pence and the pounds will take care of themselves. (小銭をしっかり管理することができれば、おのずと大金の管理もうまくいく)”のパロディで、「意味にしっかり気をつけていれば、音のほうはおのずとうまくいく」くらいの意。言葉の音の類似をてこにして、強引に同じ音を持つ違う言葉にすり変えてしまう「しゃれ」が本作品中に多く出現することを考えると、この教訓はまさに作者ならびに登場人物たちが決して心がけていないことを主張しており、そのギャップがおかしい。

翻訳のほうは、「文字（あるいは字音）で言葉を伝えられなければ、言葉で考えを伝えることはできない」と、しごくまともな内容になっていて、原文とは異なり、それ自体の面白みはない。しかし、「以……」という形の成句は多く（たとえば‘以德报怨’「徳をもって恨みに報いる」、など）、形式のパロディであるという点では、言葉遊びになっている。「于此可见 yú cǐ kě jiàn」は、現在では「由此可见 yóu cǐ kě jiàn」と言うのが普通で、意味は「このことから分かる」。

17. “Very true,” said the Duchess: “flamingoes and mustard both bite. And the moral of that is –‘Birds of a feather flock together.’” (p. 92)

那公爵夫人道，“这很不错：红鹭鸶和芥末一样，都会咬疼人的。于此可见——‘近猪者黑，近麦者白。’”(p. 75)

原文は bite の持つ「咬む」と「(舌などを) 刺激する」をかけたしゃれになっている。諺の意味は「類は友を呼ぶ」。フラミンゴとからしという全く関係のない両者が bite の一語で結ばれて同類にされてしまうおかしみである。一方中国語訳は「咬疼」で、「咬む」の意のみを移している。諺は「近朱者赤，近墨者黒」（朱に交われば赤く

なる) のパロディになっていて、これはこれでおもしろい。

18. “there’s a large mustard-mine near here. And the moral of that is—‘The more there is of mine, the less there is of yours.’” (p. 92)

“这个近处有一个芥末矿。于此可见——‘所矿愈多，所学愈少。’”(p. 76)

原文は mine の持つ「鉱山」と「私のもの」という意味にかけたしゃれ。教訓は「私のものが増えればそれだけあなたのものが減る」。中国語訳は発音の同じ「矿 kuàng 鉱山」と「矿 kuàng 怠ける」をそれに対応させている。教訓は「怠けることが多くなればそれだけ学ぶことが少なくなる」。ほぼ完璧な移し替えができていて、見事というほかないだろう。

19. “Now, I give you fair warning,” shouted the Queen, stamping on the ground as she spoke; “either you or your head must be off, and that in about half no time! Take your choice!”

The Duchess took her choice, and was gone in a moment. (p. 93)

那皇后跺着脚嚷道，“你听着，我预先通知你。现在不是你去，就是你的头得去，而且不到立刻以前就给我实行！你两样拣一样罢！”那公爵夫人拣了第一样，登时就去了。(p. 77)

原文 be off はそもそも「離れる」の意で、それ故、人が主語ならその場を去る、首が主語なら婉曲に斬首のことになる。女王がしばしば叫ぶ“Off with his head!”という台詞ももちろん思い浮かぶところである。翻訳のほうも同様のニュアンスの「去」を用いている。

20. Then the Queen left off, quite out of breath, and said to Alice, “Have you seen the Mock Turtle yet?”

“No,” said Alice. “I don’t even know what a Mock Turtle is.”

“It’s the thing Mock Turtle Soup is made from,” said the Queen. (p. 94)

那皇后也就停了下来，气喘喘地对阿丽思道，“你看见素甲鱼没有？”阿丽思道，“没有，我连知道都不知道素甲鱼是件什么东西。”那皇后道，“那就是用来做素甲鱼汤的鱼。”(p. 78)

原文Mock Turtleはいわゆる「逆成語」で、turtle soupのまがい(mock)ものであるmock turtle soupの前半分をとったもの。翻訳の「素甲魚」は、やはり逆成語で、「素甲魚湯」すなわち、「精進料理の海がめスープ」の前半部分をとっている。

21. “When we were little,” the Mock Turtle went on at last, more calmly, though still sobbing a little now and then, “we went to school in the sea. The master was an old Turtle—we used to call him Tortoise—”

“Why did you call him Tortoise, if he wasn’t one?” Alice asked.

“We called him Tortoise because he taught us,” said the Mock Turtle angrily. “Really you are very dull!” (p. 96)

又等了一大会儿，那素甲鱼稍微镇定一点，但是哭也还有时候唏唏嘘嘘地哭。他接着道，“我们小的时候到海里去进学堂。我们的先生是一个老甲鱼——我们总叫他老忘。”阿丽思问道，“他是个什么王，你们会叫他老王呢？”那素甲鱼怒道，“我们管这老甲鱼叫老忘，因为他老忘记了教我们的工课。你怎么这么笨？”(p. 80)

にせ海亀が子供のころ通った学校の先生は海亀(turtle)であるにもかかわらず、陸亀(tortoise)と呼ばれていた。それは彼が我々を教えたから(he taught us)、という言葉遊び。taught usがリンキングによりtortoiseと同じ発音になる。翻訳ではにせ海亀はその先生を「老忘lǎo wàng」と呼んでいる。アリスは、その「老王lǎo wáng」は何の王様なのか、と尋ねる。にせ海亀の答えは「他老忘记了教我们的工课」すなわち、彼はいつも我々に教えることを忘れる「老忘记了lǎo wàng jì le」からだ、というもの。この場合

の「老」は副詞で、「いつも」の意になる。

しかし、初めににせ海亀が「老忘」と言ってしまうと、読者にしゃれのおちをあらかじめ明かしてしまうようなもので、後のにせ海亀の答えの意外性が減ってしまう。にせ海亀はアリスに「老王」と告げた、とするほうがおもしろいではなかろうか、と前々から思っていたところ、台湾で出版された趙元任訳の現代語版の編者は、やはり同じように考えたとみえて、この箇所をつぎのように改変している。

「我們小的時候，到海裡去進學校。我們的先生是一個老甲魚——我們總叫他老王…我們管這老甲魚叫老王，因為他老忘記了教我們的功課。」(p. 158)

22. “With extras?” asked the Mock Turtle, a little anxiously.

“Yes,” said Alice: “we learned French and music.”

“And washing?” said the Mock Turtle.

“Certainly not!” said Alice indignantly.

“Ah! Then yours wasn’t a really good school,” said the Mock Turtle in a tone of great relief. “Now, at ours, they had, at the end of the bill, ‘French, music, and washing—extra.’” (p. 97)

那素甲鱼急问道，“有另加的选科吗？”阿丽思答道，“有，我们学法文和音乐。”那素甲鱼道，“还有学洗衣吗？”阿丽思生气道，“自然没有！”那素甲鱼得意的道，“啊！那么你那个并不是一个好学堂。在我们的学堂里，在账单的末了儿总写着‘法文，音乐，还有洗衣——在外。’” (p. 81)

原文 extras には「課外授業」と「別料金」の意がある。にせ海亀がフランス語や音楽といった授業科目と洗濯とを同列に扱おうとするのがおかしい。翻訳では、後半部分は「在外」、含まれていない、としているものの、はじめのほうの「选科」は、授業の選択科目の意味が明瞭なので、若干無理があるかもしれない。

23. “I couldn’t afford to learn it,” said the Mock Turtle, with a sigh. “I only took the regular course.”

“What was that?” inquired Alice.

“Reeling and Writhing, of course, to begin with,” the Mock Turtle replied; “and then the different branches of Arithmetic—Ambition, Distraction, Uglification and Derision.” (p. 98)

那素甲鱼道，“唉！我实在是学不起。我就只有力量学了普通科。”阿丽思道，“那里头有什么呢？”那素甲鱼答道，“‘练浮’和‘泻滞’；此外就是各门的算术——‘夹术’，‘钳术’，‘沉术’和‘丑术’。”(p. 81)

原文はすべて実際の授業科目のパロディとなっている。Reeling 「よろめき」は reading 「読み」の、Writhing 「身もだえ」は writing 「書き」の、Ambition 「野心」は addition 「加法」の、Distraction 「気散じ」は subtraction 「減法」の、Uglification 「醜化」は multiplication 「乗法」の、Derision 「あざけり」は division 「除法」のそれぞれパロディであり、音のよく似た言葉をあてている。

いっぽう翻訳のほうもそれにならって「练浮 liàn fú 水泳の練習」は「念书 niàn shū 音読」、「泻滞 xiè zhì [意味不明]」は「写字 xiě zì 字を書く」、「夹术 jiā shù [挟み撃ちにする術か?]」は「加法 jiā fǎ 足し算——かつては『加术 jiā shù』とつづったのではなかろうか」、「钳术 qián shù [これも前項同様、挟み撃ちにする術か?]」は「減法 jiǎn fǎ 引き算」、「沉术 chén shù 気持ち静める術」は「乗法 chéng fǎ 掛け算」、「丑术 chǒu shù 醜くする術」は「除法 chú fǎ 割り算」など、それぞれ対応する授業科目をもじって、音の近い言葉をあてている。中には、音を似せようとして意味が不明になってしまったものもあるが、しゃれはしゃれで訳したい、という訳者の気持ちが横溢している。

24. “Well, there was Mystery,” the Mock Turtle replied, counting off the subjects on his flappers,—“Mystery, ancient and modern, with Seaography: then Drawling—the Drawling-master was an old conger-eel, that used to come once a week: he taught us Drawling, Stretching, and Fainting in Coils.” (p. 98)

那素甲鱼屈爪数着道，“还有就是‘里湿’‘上骨里湿’，‘中骨里湿’，和‘边骨里

湿’，这是同‘底里’，一块儿学的；还有就是‘涂化’，那个涂化先生是一个墨鱼，每礼拜来一回；他教我们‘尖鼻化’，‘水菜化’和‘油化’。”(p. 82)

原文はふたたび科目のパロディ。Mystery「神秘学」はhistory「歴史」の、Seaography「[キャロルの造語であるが、しいて訳せば]海理学」はgeography「地理学」の、Drawing「のたくり」はdrawing「線描画」の、Stretching「手足伸ばし」はsketching「素描」の、Fainting in Coils「とぐろを巻いて失神」はpainting in oils「油絵」のそれぞれパロディとなっている。

対する翻訳は、少々おもむきを異にし、歴史の時代区分を取り入れている。「里湿 lì shī [実存しない語。病名のつもりか?]」は「历史 lì shī 歴史」、「上骨里湿 shàng gǔ lì shī」は「上古历史 shàng gǔ lì shǐ」、「中骨里湿 zhōng gǔ lì shī」は「中古历史 zhōng gǔ lì shǐ 中古歴史」、「边骨里湿 biān gǔ lì shī [この箇所「近骨里湿 jìn gǔ lì shī」の誤りか? 台湾版は「近骨裡濕」としている(p. 160)]」は、おそらく「近古历史 jìn gǔ lì shǐ 近古歴史」をそれぞれもじっている。「底里 dǐ lǐ」は、普通、「内情、実情」といった意味だが、ここでは「海の底の学問」、とでもとるべきか。これはもちろん「地理 dì lǐ」すなわち「地理」のしゃれ。「涂化 tú huà 泥と化すことか?」は「图画 tú huà」のパロディで、「凶画」である。また、「尖鼻化 jiān bí huà 鼻をとがらせることか?」は「铅笔画 qiān bǐ huà」すなわち「鉛笔画」、「水菜化 shuǐ cài huà [不明]」は「水彩画 shuǐ cǎi huà」、「油化 yóu huà 油にすることか?」は「油画 yóu huà」つまり「油絵」のもじり。

25. “Hadn’t time,” said the Gryphon: “I went to the Classical master, though. He was an old crab, he was.”

“I never went to him,” the Mock Turtle said with a sigh. “He taught Laughing and Grief, they used to say.” (p. 98)

那骨勒凤道，“是因为没有工夫，我请的倒是个有点古风的先生。他是一个老螃蟹，他真是个螃蟹。”那素甲鱼道，“唉，我从不去找他教的，人家总说他教的是腊钉和希腊。”(p. 82)

原文はやはり科目のパロディ。Laughing「笑うこと」はLatin「ラテン語」の、Grief「深い悲しみ」はGreek「ギリシャ語」のもじり。翻訳の「腊釘 là dīng [不明。干した魚や肉をかける釘か?]」は「拉丁 là dīng ラテン語」の、「稀腊 xī là [不明。珍しい干した魚や肉か?]」は「希腊 xī là ギリシャ語」のしゃれ。

26. “And how many hours a day did you do lessons?” said Alice, in a hurry to change the subject.

“Ten hours the first day,” said the Mock Turtle: “nine the next, and so on.”

“What a curious plan!” exclaimed Alice.

“That’s the reason they’re called lessons,” the Gryphon remarked: “because they lessen from day to day.” (p. 99)

阿丽思连忙想别的话来打岔道，“那么你们一天上多少课呢？”那素甲鱼道，“是啊！是有多少。头一天十个钟头，第二天九个钟头，第三天八个钟头，是这么样下去的。”阿丽思道，“这倒是好古怪的法子！”那骨勒凤说道，“所以人家才说工课有‘多少’啊。因为是先多后少的。”(p. 83)

にせ海亀の学校の授業 (lesson) は最初の日は10時間、次の日は9時間、と毎日減っていく (lessen)、という同音異義語のしゃれになっている。翻訳の「先多后少」は、「先忧后乐 (先に苦しみがあれば後に楽しみがある)」、「先公后私 (公事を先とし、私事を後にする)」、「先花后果 (一姫二太郎)」、「先来后到 (先着順)」、「先礼后兵 (まず礼を尽くし、うまくいかない場合は武力に訴える)」などの一連の「先～后～」の形をした四字熟語のパロディ。「先に多ければ後で少ない」くらいの意か。

27. “Oh, as to the whiting,” said the Mock Turtle, “they—you’ve seen them, of course?”

“Yes,” said Alice, “I’ve seen them at dinn—” she checked herself hastily.

“I don’t know where Dinn may be,” said the Mock Turtle; “but, if you’ve seen them so often, of course you know what they’re like?” (p. 103)

那素甲鱼道，“说起那黄蟹，它们——你看总看见过的，不是吗？”阿丽思道，“看见过，我常看见过它们在大海碗——”她连忙止住嘴。那素甲鱼道，“我不知道大海湾是什么地方，不过你既然常看见它们，你自然一定知道它们是什么样子。”(p. 87)

にせ海亀に「鱈(whiting)」を知っているか、とたずねられたアリスは、夕食(dinner)の席でみたことがある、と答えそうになるが、にせ海亀とは海の生物仲間であるタラを食べた、とはさすがに言えずに、“dinn—”と言いよどんでしまう。にせ海亀はそれを“Dinn”という土地の名前と勘違いする、というギャグ。翻訳ではタラにかわって「黄蟹」が登場し、アリスはそれを「大海碗 dà hǎi wǎn 大きなどんぶり」の中で見たことがある、と言いかけてそれ以上何も言えなくなってしまう。一方にせ海亀は、それを「大海湾 dà hǎi wān」ととり、やはり土地の名前と思い込んでしまう。

28. “Why, what are your shoes done with?” said the Gryphon. “I mean, what makes them so shiny?”

Alice looked down at them, and considered a little before she gave her answer. “They’re done with blacking, I believe.”

“Boots and shoes under the sea,” the Gryphon went on in a deep voice, “are done with whiting. Now you know.”

“And what are they made of?” Alice asked in a tone of great curiosity.

“Soles and eels, of course,” the Gryphon replied, rather impatiently: “any shrimp could have told you that.” (p. 104)

那骨勒凤道，“我问你，你的鞋怎么会亮的，你使什么叫它发亮的？”阿丽思低头瞧瞧她的鞋，又想了一会儿再答道，“我想这是用黑鞋油擦的。”那骨勒凤就用着深沉的声气道，“谁听说过黑蟹油，在海底里的鞋都是用黄蟹油刷的。现在你知道了罢？”阿丽思就追着问道，“那是用什么做的呢？”那骨勒凤有点不耐烦地答道，“自然是蟹黄和蟹油咯！这个随便哪个小蟹儿都会告诉你的。”(p. 88)

靴は「靴墨(blacking)」で磨く、と言うアリスにむかってグリフォンは、海の中では

靴は「白墨(whiting)」で磨く、と答える。この“whiting”はもちろん「鱈(whiting)」とのしゃれになっている。興味をひかれたアリスがその材料を問うと、グリフォンは“soles and eels (舌びらめとうなぎ)”と答えるのだが、これはもちろん“sole (靴底)”と“heel (かかと)”にひっかけたしゃれになっている。

翻訳では海の中では「黄蟹油 huáng xiè yóu」が靴磨きに使われることになっている。なぜカニの油なのかといえば、「蟹 xiè」が、地上で使われる靴磨き「黒鞋油 hēi xié yóu」の「鞋 xié (靴)」と同音になるからである。さらに、その原料は「蟹黄 xiè huáng (かにみそ)」と「蟹油 xiè yóu」だ、とおちがついている。

29. “If I’d been the whiting,” said Alice, whose thoughts were still running on the song, “I’d have said to the porpoise ‘Keep back, please! We don’t want you with us!’”

“They were obliged to have him with them,” the Mock Turtle said. “No wise fish would go anywhere without a porpoise.”

“Wouldn’t it, really?” said Alice, in a tone of great surprise.

“Of course not,” said the Mock Turtle. “Why, if a fish came to me, and told me he was going a journey, I should say ‘With what porpoise?’”

“Don’t you mean ‘purpose’?” said Alice. (p. 105)

阿丽思心上还惦记着那首歌。她说道，“要是我做了那黄蟹，我就会对了那鲤鱼说，‘请你留在后头；我们不要你跟我们来!’”那素甲鱼道，“它们不能不让它们跟来的。凡是有点见识的黄蟹，不会没有鲤鱼就到那儿去的。”阿丽思听了非常诧异道，“真的没有鲤鱼就不走吗？”那素甲鱼道，“自然不会走。你想，假如有个黄蟹来找我，对我说它要旅行上哪儿去，我第一句就要问它，‘你有什么鲤鱼?’”阿丽思道，“你要说的不是理由吗?”(p. 88)

にせ海亀によると、賢い魚は必ず「イルカ(porpoise)」とともに旅をする。なぜなら、旅する魚に彼はいつも“With what porpoise? (どんなイルカと?)”とたずねるから。もちろんporpoiseは発音の近いpurposeとのだじゃれで、本当は“With what purpose? (どんな目的で?)”が正しい。翻訳ではやはり発音の近い「鲤鱼 lǐ yú」と「理由 lǐ yóu」

が用いられている。たいへんにうまい訳ではあるが、イルカとちがって鯉は淡水魚だ、というのが玉に瑕だろう。

30. “I’m a poor man, your Majesty,” the Hatter began, in a trembling voice, “and I hadn’t begun my tea—not above a week or so—and what with the bread-and-butter getting so thin—and the twinkling of the tea—”

“The twinkling of what?” said the King.

“It began with the tea,” the Hatter replied.

“Of course twinkling begins with a T!” said the King sharply. “Do you take me for a dunce? Go on!” (p. 114)

那帽匠声音发抖地说道，“陛下，我是个穷人——我不过刚才起头喝我的茶，——喝了没有一个礼拜出头——而且说起那面包越弄越薄——而且那茶又要查夜——”那皇帝道，“什么东西查夜？”那帽匠道，“查夜先从茶起头。”那皇帝厉声地道，“自然茶叶是茶字起头，你当我傻字吗？再说下去。”(p. 97)

裁判官役を務める威圧的な王様に向かって、帽子屋がくどくどと言いつをする場面。「何のきらめき(twinkling)だと？」との問いに帽子屋は、“It began with the tea”と答えるのだが、このitは、帽子屋の心積もりでは、事情や状況を漠然とあらわすitであり、全体としては「そもそもお茶がことの発端なのです」くらいの意。しかし王様はこのitを自分の問いの中のtwinklingと取り違えてしまい、「twinklingという言葉はTで始まるに決まっとるだろうが」と怒る。

翻訳では「查夜 chá yè 夜警 (をやる)」と「茶叶 chá yè 茶の葉」とが全くの同音異義語であることを利用している。しかし、帽子屋がまず「而且那茶又要查夜」と言い出すのは少々おかしい。以前「老王」と「老忘」の項で指摘したのと同じように、ここでも発音が適正に文字化されていないように思える。ここは「而且那茶又要茶叶」のほうが適切であろう。帽子屋が「さらに、お茶をいれるには茶葉 (茶叶 chá yè) が必要でして」と言ったのを王様が聞き違えて「夜警 (查夜 chá yè) とは何かね？」とたずねる、としたほうがより自然ではなかろうか。ついで帽子屋は「夜警 (查夜) は

まずお茶 (chá) を飲むところから始まります。」と言うのに対し、王様は「茶葉 (茶葉 chá yè) が茶の字から始まるのは当たり前だろう。」とふたたび腹を立てる、という流れになるだろう。しかし、両者の言葉の取り違え、語頭の文字が問題になる点、など、原文の言葉遊びの諸要素はほぼ完全に取り入れられている。

31. “If that’s all you know about it, you may stand down,” continued the King.

“I ca’n’t go no lower,” said the Hatter: “I’m on the floor, as it is.”

“Then you may sit down,” the King replied. (p. 116)

那皇帝道，“假如你知道的就是这一点儿，你就退下去罢！”那帽匠道，“我不能再下去嘞，因为像这样我已经站在地板上嘞。”那皇帝答道，“那么你就坐下去。”
(pp. 98-9)

原文は stand down と sit down の言葉遊びになっている。stand down には裁判用語として「証人台から降りる」という意味があり、王様はそのつもりで言ったのだが、帽子屋はそれを全く物理的にとらえ、すでに自分は床の上にいるのだから、これ以上下へは行けない、と答えるのがおかしい。そこでさらに王様は「では座れ (sit down) ばよかろう」と追い討ちをかける。翻訳でも同様に、裁判用語ではないが、王様は「退下去」退出しろ、と言ったのに対し、帽子屋は「地板 (床板)」の上にいるのだから、「再下去」これよりもっと下へ行くことはできない、と答えている。最後に王様がそれらと似た言い回しで、それならば「坐下去」座っていればよいだろう、と答えるのも同じ。

32. “... Then again—‘before she had this fit’—you never had fits, my dear, I think?” he said to the Queen.

“Never!” said the Queen, furiously, throwing an inkstand at the Lizard as she spoke...

“Then the words don’t fit you,” said the King, looking round the court with a smile. There was a dead silence.

“It’s a pun!” the King added in an angry tone, and everybody laughed. (p. 124)

“…而且底下又是说——‘她还没有发疯前——’”（他对皇后说道）“我爱，你从来没有发疯的，我想？”那皇后大怒道，“从来没有！”说着就掌一个墨水瓶对着那蝎虎子丢过去…那皇帝道，“那么这句话就不关风，”说着就带着笑脸对大家瞧一周。公堂里头一点声都没有。那皇帝生气道，“这是一句双关的笑话。”大家就“哈哈”笑了三声。(pp. 106-7)

原文は fit の多義性を利用した言葉遊びになっている。王様は女王に今までにかんしゃく(fit)を起こしたことがあるか、とたずねる。女王は「一度もない」と答えてかんしゃくを起こす。それをなだめようと、王様は「それではこれらの言葉はお前にはかかわりないな(the words don't fit you)」としゃれてみるのだが、このしゃれを笑う者は誰もいない。しゃれが分からなかったのか、しゃれがわかっても笑うのは失礼だと思ったのか、あるいは現に女王はかんしゃくを起こしているのだからまさに「しゃれにならない」と思ったからなのか、は不明であるが、とにかく座はしらけてしまう。それを怒った王様は「これは冗談だぞ」と言って笑いを催促する。

翻訳では「发疯 fā fēng (気が狂う)」と「不关风 bù guān fēng」がしゃれになっているはずだ。なにしろ王様が「这是一句双关的笑话(掛け言葉の冗談)」とのたまうのだから。しかし、何人かの中国の方にお聞きしたのだが、現代の中国語に「不关风」という言いまわしはなく、また、その意味も、おそらく「関係ない」というようなことであろう、とは推測できるものの、正確なところは不明なため、この箇所がうまいしゃれになっているのかどうか、残念ながら判断することができない。

今回抽出した原文の言葉遊び32例のうち、元任は25例を言葉遊びとして訳している。初の中国語訳であることを考えると、これは実に驚くべき数字と言えるだろう。また、その質も、数例を除いては、満足できる出来ばえとなっている。ウィーヴァーが賞賛したのも無理からぬことであったのだ。

中国語に関するいくつかの疑問点について、千葉商科大学の趙軍先生、郭莉莉先生、そして何人かの中国からの留学生の諸君に教えていただきました。また、趙元任に関する資料について、同じく河村昌子先生にいろいろと教えていただきました。こ

ここに感謝の意を表します。ただし、本稿中に誤りがあれば、それはすべて筆者の責任であることは言うまでもありません。

参照文献

『翻訳の国の「アリス」』楠本君恵著、東京、未知谷、2001年

『阿麗思漫遊奇境記』路易斯・加樂爾著、趙元任訳、北京、商務印書館、2002年

『阿麗思漫遊奇境記』路易斯加樂爾著、趙元任譯、上海、商務印書館、1922年；rpt. 1933

『愛麗絲漫遊奇境』路易斯凱洛作、趙元任譯、台北、經典傳訊、2000年

Carroll, Lewis. *The Annotated Alice – The Definitive Edition*. Ed. Martin Gardner. New York: W.W.Norton & Company, 2000.

Weaver, Warren. *Alice in Many Tongues—the Translation of Alice in Wonderland*. Madison: The University of Wisconsin Press, 1964.